

ストーブの整備

6. エアカーニードルを外し、これを利用してジェットノズルを交換します。エアカーニードルを使用し、燃料の流量が減少し、ストーブの性能が低下します。ジェットノズルを交換する場合は、新しいジェットノズルを交換する必要があります。

7. 燃料ノズル内部をクリーニングノズルで清掃してください。

8. 燃料ノズルに燃料を注ぎます。

9. ストーブを組み立て直ししてください。

1. 止めチャットを2回転させて締めめます。

2. コントロールバルブを6回転させて締めめます。

3. 止めチャットを最後まで締め、コントロールバルブを回して締め、芯を取り外します。

4. 0.1リットルを交換して、損傷している場合は交換します。

5. 0.1リットルを注ぎます。

6. エアカーニードルを交換する場合は交換します。

7. エアカーニードルを交換する場合は交換します。

8. エアカーニードルを交換する場合は交換します。

9. エアカーニードルを交換する場合は交換します。

ストーブの整備

1. 止めチャットを2回転させて締めめます。

2. コントロールバルブを6回転させて締めめます。

3. 止めチャットを最後まで締め、コントロールバルブを回して締め、芯を取り外します。

4. 0.1リットルを交換して、損傷している場合は交換します。

5. 0.1リットルを注ぎます。

6. エアカーニードルを交換する場合は交換します。

7. エアカーニードルを交換する場合は交換します。

8. エアカーニードルを交換する場合は交換します。

9. エアカーニードルを交換する場合は交換します。

1. 止めチャットを2回転させて締めめます。

2. コントロールバルブを6回転させて締めめます。

3. 止めチャットを最後まで締め、コントロールバルブを回して締め、芯を取り外します。

4. 0.1リットルを交換して、損傷している場合は交換します。

5. 0.1リットルを注ぎます。

6. エアカーニードルを交換する場合は交換します。

7. エアカーニードルを交換する場合は交換します。

8. エアカーニードルを交換する場合は交換します。

9. エアカーニードルを交換する場合は交換します。

トラブルシューティング

問題	原因	処置
燃料漏れ		
ポンプと燃料ボトルの接続部	ポンプシールの損傷または欠落	ポンプシールを交換する
ポンプと燃料パイプの接続部	燃料パイプ O リングの損傷または欠落	燃料パイプ O リングを交換する
コントロールバルブの柄部分	コントロールバルブ O リングの損傷または欠落	コントロールバルブ O リングを交換する
ポンプブランチーチャンバー内	チェックバルブの詰まり	チェックバルブのくぼみをクリーニングする
性能の問題	原因	処置
ポンピングしても燃料ボトルを加圧できない	ポンプが緩んでいるかしっかりとっていない	燃料ボトルのポンプを締め直す
ブランチーをポンピングしにくい	ポンプカップの損傷	ポンプカップに注油する
異常な黄色い炎	ポンプカップが乾いている	ポンプカップに注油する
炎が弱い	予熱が適切でない	手順 4 を繰り返す
沸騰時間が遅い	燃料ボトルの圧力が低い	ブランチーをポンピングする
高地で炎が弱くなる	ジェットあるいは燃料パイプの詰まり	ジェットおよび燃料パイプをクリーニングする
	空気の流れが不十分	ウィンドスクリーンを少し開く

WhisperLite™ International ストーブは、2 種類の取替え可能なノズルを使用して、数種類の燃料を使用することができます。

1. UG ジェットは、ホワイトガソリンと自動車用無鉛ガソリンに使用します。このジェットは、ストーブに予め取り付けられています。

2. UK ジェットは、灯油に使用します。このジェットは、ストーブの部品キットに含まれています。ジェットを交換する場合は「ジェットと燃料パイプのクリーニング」をご覧ください。

最高の性能が得られるよう MSR® SuperFuel™ (ホワイトガソリン) をお使いください。お使いのストーブにとって最高品質の燃料です。有鉛燃料は使用しないでください。ホワイトガソリン以外の燃料を使用すると、ストーブがすぐに目詰まりしたり、ジェットおよび燃料パイプを頻繁にクリーニングしなければならない場合があります。また、自動車用無鉛ガソリンを使用すると、ストーブの寿命を縮めることになる場合があります。海外旅行の際、現地で燃料を購入する場合には、以下の燃料一覧表を参考にしてください。

外国での燃料の名称や安全なストーブの持ち運びに関するさらに詳しい情報については、www.msrgear.com をご覧ください。

米国・英国・カナダ	ドイツ・スイス	日本	フランス	オランダ	スペイン
White Gas, Naphtha	Kocherbenzin, Reinbenzin	ホワイトガソリン	Pétrole à brûler, Essence C	Wasbenzine	Bencina blanca
Unleaded Auto Gas	Autobenzin	ガソリン	Essence sans plomb	Benzine	Gasolino sin plomo
Kerosene	Petroleum	灯油	Kérosène	Petroleum Lampolie	Parafina

危険

一酸化炭素の危険

このストーブは、無臭の一酸化炭素を発生する可能性があります。密閉された場所で使用すると、死亡事故に至る場合があります。キャンピングカーやテント、車、屋内等の密閉された場所で、絶対にこのストーブを使用しないでください。

安全のための注意事項

このストーブや他のストーブの近くで、ガソリン等の引火性蒸気を発生する液体を保管したり、使用したりしないでください。

危険

一酸化炭素、火災、爆発の危険

このストーブと燃料の使用により、重大な危険が生じる場合があります。失火や爆発、誤用により、死亡事故や重度のヤケド、物的損害を引き起こす恐れがあります。使用者には、自分自身の安全および周りの人々に対する安全に責任があります。適切な判断を行ってください。

このストーブは屋外使用専用です。テント内、出入口、車内、屋内、換気の悪い場所では、ストーブを絶対に使用しないでください。このストーブは酸素を消費し、有毒で無臭の一酸化炭素ガスが発生します。このストーブは、近くにある可燃物や引火性液体・蒸気を容易に引火させます。密閉された空間でこのストーブを使用すると、死亡や重症のやけどに至る危険性があります。

ストーブや燃料ボトルは、他の熱源の近くに保管しないでください。直径 25 cm 以上の Outback Oven™ などの調理器具を使用しないでください。調理器具のサイズが大きすぎると、燃料ボトルが過熱する恐れがあります。燃料ボトルが高温にさらされると、爆発し、死亡や重大なヤケドを負う恐れがあります。

小児がこのストーブを絶対使用させないでください。小児はストーブや調理場所から 3 m 以上離し、常に目を離さないようにしてください。

屋外使用専用

製品サービスおよび情報に関するお問い合わせ先

Cascade Designs, Inc.
4000 First Avenue South, Seattle, WA 98134 USA
Phone: 800.531.9531 または 206.505.9500
www.msrgear.com

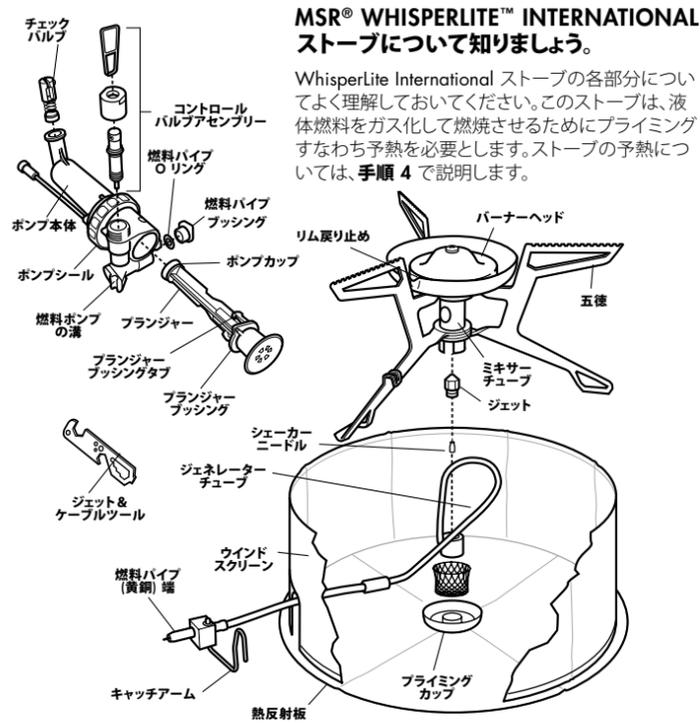
取扱説明書



MSR
MOUNTAIN SAFETY RESEARCH®

WHISPERLITE™ INTERNATIONAL

後日参照できるよう大切に保管してください。



MSR® WHISPERLITE™ INTERNATIONAL ストープについて知りましょう。

WhisperLite International ストープの各部分についてよく理解しておいてください。このストープは、液体燃料をガス化して燃焼させるためにプライミングすなわち予熱を必要とします。ストープの予熱については、手順 4 で説明します。

警告

以下の場合は、ストープを使用しないでください。(1) この取扱説明書をすべて読み、完全に内容を理解する前、(2) 燃焼しているストープ、または熱いストープを取り扱うことに対して、まだ慣れていなくて不安な場合、(3) 燃料が漏れているのを発見した場合、(4) ストープあるいはその周囲に直火器具の操作を危険にする要因を発見した場合、これらの指示に従わなかった場合、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡に至る危険が発生する恐れがあります。

WHISPERLITE™ INTERNATIONAL ストープ操作手順

死亡事故や重大なヤケドを避けるため、本ストープを使用する前に必ずこの取扱説明書の指示と警告をすべて読んで充分理解し、それに従ってください。

1 燃料ボトルの準備

WhisperLite International ストープには、様々な燃料が使用できるよう交換可能なジェットが 2 本用意されています。使用する燃料の種類に合ったジェットを使用するために、「燃料について」をご覧ください。

- 燃料ボトルの満タンラインを超えないでください。燃料膨張のために、空気スペースが必要です。
- 燃料ボトルにポンプを挿入し、しっかりと締めます。
- 燃料ボトルを加压する前に、漏れないことを確認してください。
- ポンプコントロールバルブを閉じ、プランジャーをポンピングします (20~30 回)。

しっかりと抵抗が感じられるまでポンピングします。燃料ボトルの中身が少ない場合、ポンピング回数をさらに多くして加压する必要があります。

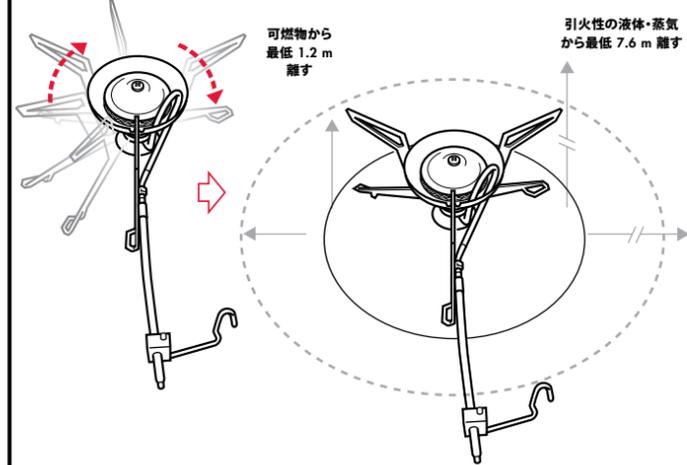


警告

燃料ボトルは、MSR® 燃料ボトル以外使用しないでください。MSR 燃料ボトル以外を使用すると燃料漏れが発生し、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故に至る危険があります。ストープや燃料のそばに小児を近づけないでください。カスケードデザイン社では、3m 以上遠ざけることをお奨めします。燃焼しているストープや熱いストープから目を離さないでください。ストープを放置すると、火災になる恐れがあり、小児、ペット、ストープに気が付かない人が、ヤケドや怪我をしたり死亡事故に至る場合があります。氷点下でストープを使用する場合は、細心の注意を払ってください。氷点下では、Oリングが硬くなり、燃料が漏れる可能性があります。燃料ボトルの加压およびプライミングの前、ストープに点火後は、燃料が漏れていないか常に確認してください。燃料漏れを起こしているストープを使用すると、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。

2 ストープの設置

- 3 本脚の五徳を開きます。五徳を回転させて、完全に開きます。
- ストープを熱反射板の中央の上に置きます。

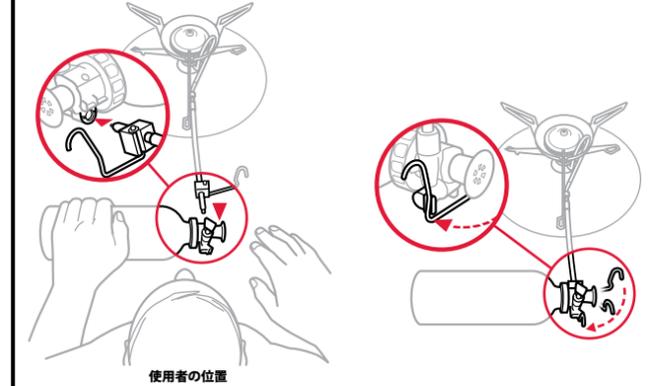


警告

可燃物は、燃焼しているストープや点火しようとしているストープの上部および周囲から少なくとも 1.2 m 離してください。引火性液体や可燃性蒸気は、燃焼しているストープや点火しようとしているストープの上部および周囲から少なくとも 7.6 m 離してください。このストープは、可燃物、引火性液体、可燃性蒸気を引火させることがあり、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故に至るような状況を引き起こします。このストープは野外(テントなどの密閉された空間ではない)で、水を沸騰させたり、調理するために設計されています。それ以外の目的では使用しないでください。密閉された空間でストープを使用したり、水を沸騰させたり調理する目的以外で使用すると、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故に至る恐れがあります。

3 ストープとポンプの接続

- 燃料パイプの先端全体に唾またはオイルを塗ります。
- ポンプに燃料パイプの先端を完全に差し込みます。ポンプコントロールバルブが上向きになるよう燃料ボトルを横向きにします。
- キャッチアームを燃料ポンプの溝にしっかりと固定します。安全確保のため、燃料パイプをまっすぐに保ってください。燃料ボトルは、ストープからできるだけ離れた位置に来るようにします。

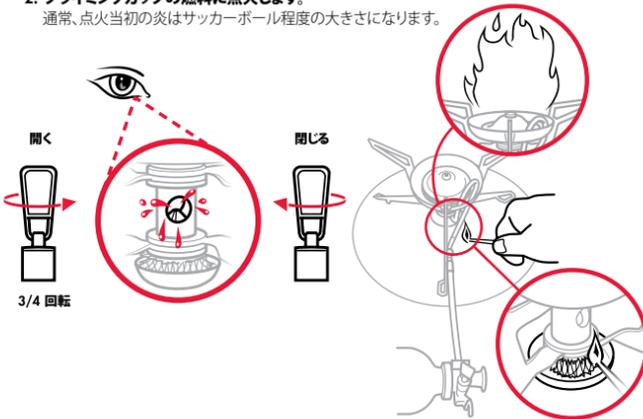


警告

ご使用の度に、燃料ボトル、ポンプ、燃料パイプ、バーナー、ストープの下、ストープの周囲に燃料が付着していないことを確認してください。燃料が付着していたり、燃料臭がある場合は、ストープに点火しないでください。トラブルシューティングをご覧ください。燃料漏れしたことがある状態あるいは燃料漏れが起きている状態でストープを使用すると、燃料に引火し、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故が起きる恐れがあります。ストープの使用時やストープがまだ熱い時、あるいは裸火の近くでは、燃料パイプ、ポンプ、燃料ボトルを決して外さないでください。コントロールバルブが開いている時(燃料が流れている時)、燃料パイプ、ポンプ、燃料ボトルを決して外さないでください。ストープの使用時やストープがまだ熱い時あるいは裸火の近く、あるいはコントロールバルブが開いている時(燃料が流れている時)、燃料パイプ、ポンプ、燃料ボトルを決して、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故などの原因となる場合があります。

4 ストープの予熱

- スプーン 1/2 杯分の燃料を出します。ポンプコントロールバルブを 3/4 回転開いて、ジェット内に燃料が流れ込むようにします。ポンプコントロールバルブを閉めます。プライミングカップ内および芯の燃料を確認します。
- プライミングカップの燃料に点火します。通常、点火当初の炎はサッカーボール程度の大きさになります。

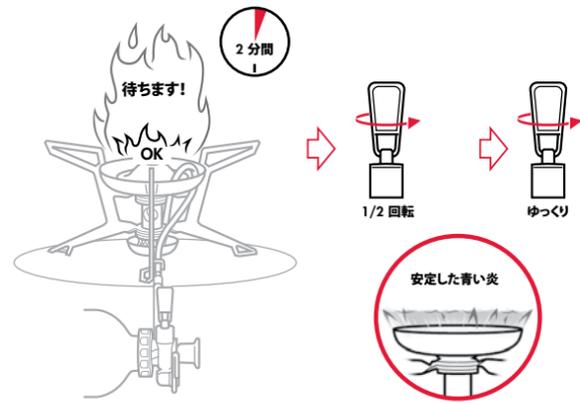


警告

ストープの予熱中、点火中、燃焼中は、頭や体がストープの上に来ないようにしてください。ストープは直火なので、頭や体をストープの上に持つことは、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故を引き起こす可能性のある危険な行為です。予熱には、燃料を使用し過ぎないでください。予熱に余分の燃料を使用すると、燃料漏れや燃料がこぼれる原因となり、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故が起きる恐れがあります。

5 ストープの点火

- 予熱の炎が小さくなるまで待ちます (約 2 分間)。炎が消えた場合は、ストープが冷めるまで 5 分間待ってから再点火してください。
- ポンプコントロールバルブを 1/2 回転回してバルブを開き、青く安定した炎になるまで待ちます。
- ゆっくりとポンプコントロールバルブを開きます。

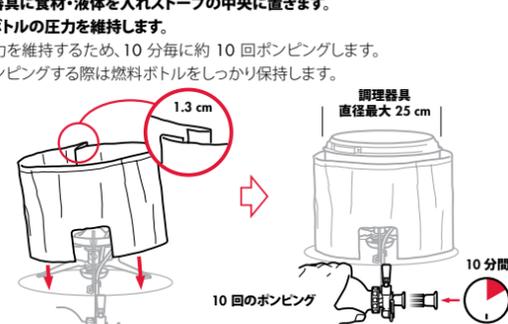


警告

ストープが冷めきっていない状態で再点火しないでください。再度点火するには、火が消えてから最低 5 分間冷まします。ストープの温度が高い状態で再点火すると、大きな炎が発生し、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。熱いストープや燃焼しているストープを移動しないでください。移動する前には、ストープの火を消してから必ず最低 5 分間冷まします。熱いストープや燃焼中のストープを移動すると、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。

6 調理目的でのストープの使用

- ウインドスクリーンをセットアップします。ウインドスクリーンの端を合わせます。最適な性能を得るため、ウインドスクリーンと調理器具の間に、2.5 cm の隙間を残します。炎と空気を遮るものがないことを確認します。ウインドスクリーンの使用により、あらゆる条件下で性能が向上します。
- 調理器具に食材・液体を入れストープの中央に置きます。
- 燃料ボトルの圧力を維持します。圧力を維持するため、10 分毎に約 10 回ポンピングします。ポンピングする際は燃料ボトルをしっかりと保持します。

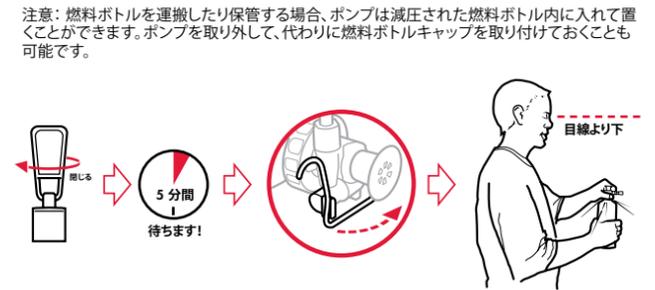


警告

燃料ボトルは、ストープバーナーやその他の熱源に近づけないでください。燃料ボトルは、できるだけバーナーから離れるように接続します。燃料ボトルをバーナーなどの熱源の近くで使用すると、燃料ボトルが爆発し、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。ウインドスクリーンは、決して燃料ボトルの周りに置かないでください。直径 25 cm 以上の調理器具を使用しないでください。2 つ以上のストープを並べて同時に使用しないでください。空の鍋あるいは液体の入っていない鍋でストープを使用しないでください。MSR® 以外の熱反射板またはデフューザーを使用しないでください。ストープを間違った方法で使用すると、燃料ボトルが爆発し、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故に至る場合があります。本ストープ、特に五徳に不適切なサイズの調理器具や不適切な調理器具を使用しないでください。(例: 凸型または凹型の底の調理器具、ホーロー調理器具など)。不適切なサイズの調理器具や不適切な調理器具でストープを使用すると、調理器具やストープが不安定になります。熱い調理器具が倒れたり、その中身がこぼれると、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。カスケードデザイン社では、適切なサイズの MSR® プランダーの調理器具の使用のみを保証します。MSR® プランダー以外の調理器具の使用に関しては、利用者自身の責任と判断において使用してください。

7 ストープの消火

- ポンプコントロールバルブを閉めます。バーナーに残った燃料が小さな炎で燃焼し続けます。
- 炎が消えた後、ストープが冷めるまで 5 分間待ってください。
- キャッチアームのロックを外して、ポンプから燃料パイプを取り外します。
- ボトルを減圧してから、ストープを収納します。燃料ボトルを顔や熱源、引火源から離し、直立させた状態で保持します。ゆっくりとポンプのネジを緩め、燃料ボトルを減圧します。



警告

燃料ボトルは、必ず小児の手の届かない場所しっかりとキャップを締めた状態で保管してください。キャップが緩んだ状態や小児の手の届く場所に燃料ボトルを保管すると、誤って小児が燃料ボトルに触れ燃料をこぼしたり吸引したりという事故を引き起こす恐れがあります。燃料ボトルの中身の燃料を吸引すると、中毒、重度の障害、死亡事故などの原因となる場合があります。燃料ボトルは、常に換気の良いところに保管し、熱源や引火源になるような以下の場所から離します。温水器、ガスレンジ、口火、暖房装置、燃料ボトルを熱源や引火源の近くに保管すると、燃料ボトルが爆発し、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。